

## 「事業者システム 201804」の導入手順説明書

ここでは、「事業者システム 201804」を導入する手順について説明します。

なお、このシステムの確認作業等は継続しており、障害等発見された場合には、順次バージョンアップ版を「ウェルネットなごや」のホームページ上に掲載していきます。

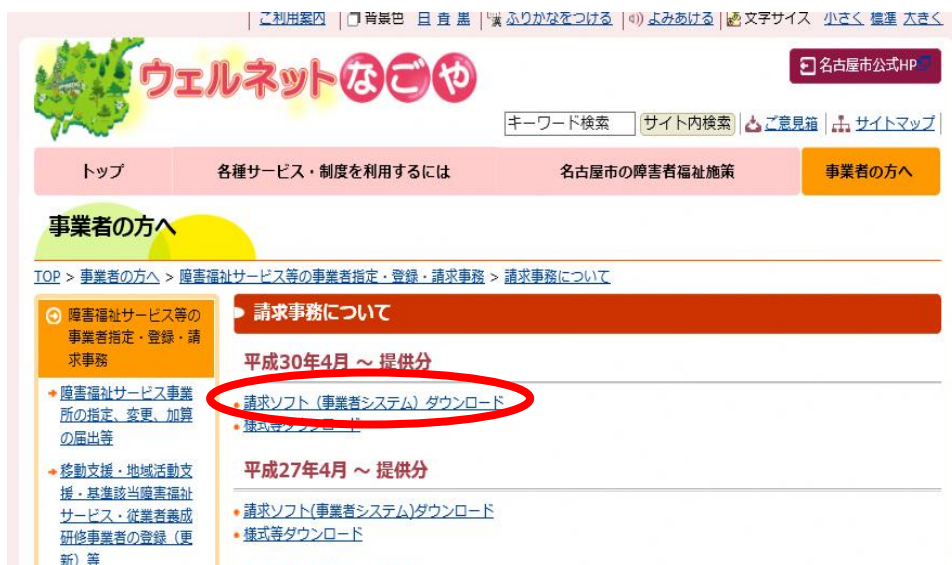
### 1 セットアップ（導入に必要なもの）

機材…パソコン、プリンタ

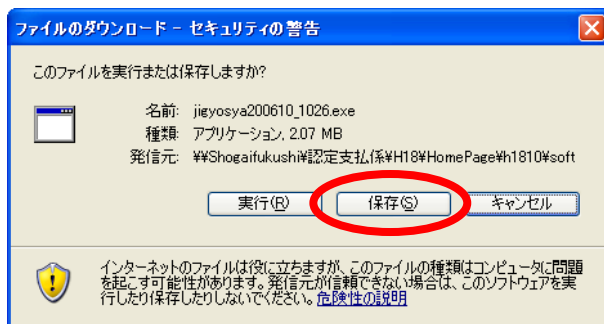
ソフトウェア…OS(Windows 7、Windows 8.1、Windows 10)

Microsoft Access 2010、2013、2016（それぞれ 32 ビット版に限る）

#### ① 事業者システム 201804 の圧縮ファイルをダウンロードします。



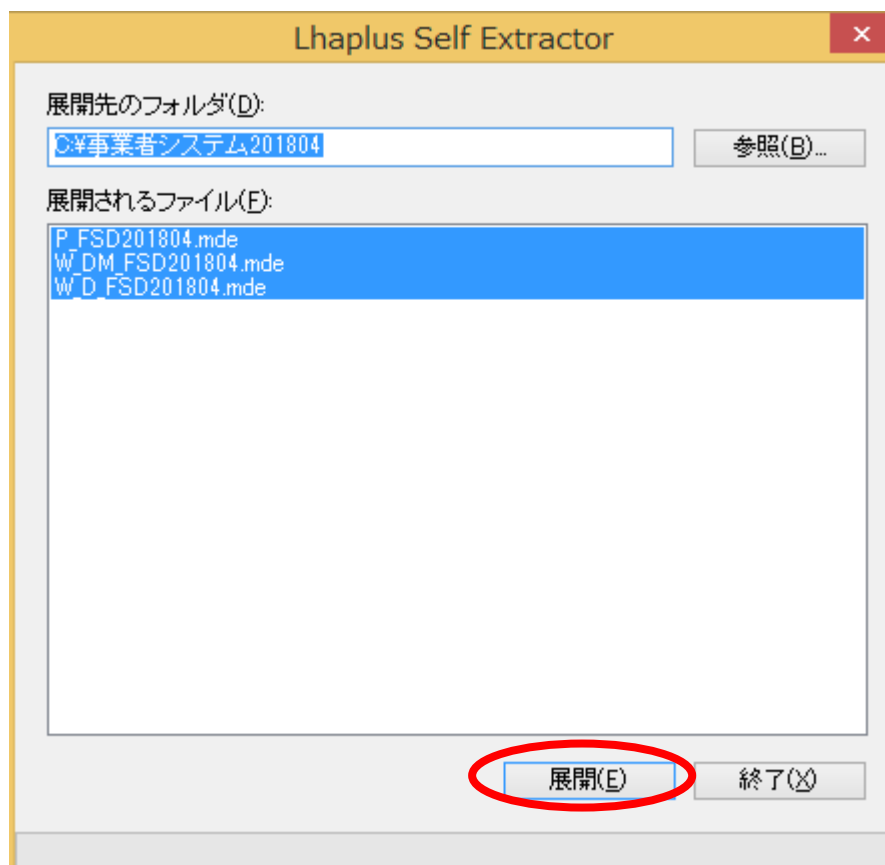
#### ② デスクトップなどに保存します。(保存場所は問いません。)



- ③ 保存されたファイル(事業者システム 201804.exe)をダブルクリックします。



- ④ 以下のウインドウが展開したら、そのまま「展開」を押します。



- ⑤ Cドライブに「事業者システム 201804」という名前のフォルダが作成され、その中に次の3つのファイルが保存されるとセットアップは完了です。

- P\_FSD201804.mde
- W\_D\_FSD201804.mde
- W\_DM\_FSD201804.mde

## 2 ショートカットの作成方法

デスクトップに事業者システムのショートカットを作成すると便利です。

※作成方法については、事業者システム操作マニュアル(共通編)の1ページを参照してください。

### 3 データの入力及び 201504 からの移行

導入したばかりの事業者システム 201804 には、「事業者情報」「受給者情報」等が入力されていませんので、以下の方法でセットアップを行います。

#### 【事業者システム 201504 を使用していない場合】

事業者システムマニュアル(共通編)に添って、「事業者情報」「受給者情報」「契約情報」等の入力を行ってください。

#### 【事業者システム 201504 を使用している場合】

事業者システム 201504 に登録している「受給者情報」「事業者情報」「契約情報」を事業者システム 201804 へ移行することが可能です。

※ 移行条件として、C ドライブ中に「C:\事業者システム 201504」が存在する必要があります。また「事業者システム 201204」以前のソフトからは直接データの移行はできません。

※ サービス提供実績記録、請求明細書データは移行できません。

#### <データ移行方法>

① メニュー画面を開き、「99 H30/4 データ移行」を押下します。

名古屋市・障害者自立支援 事業者システム 201804 Ver.1.0

パスワード

事業者名称

サービス種類

受給者番号  (提供実績管理・請求明細管理・契約管理の受給者番号の既定値) 提供単位番号名

☐ 地域生活支援事業受給者

サービス提供年月  H30/04 (提供実績管理・請求明細管理・バッチメニューの提供年月の既定値)

<オンライン処理> 選択サービス

01 対象者管理	04 請求明細管理
02 契約管理	05 計画相談請求
03 提供実績管理	06 上限管理結果

<バッチ処理>

11 バッチメニュー	91 DB再リンク	94 市町村情報
12 国保連データ	92 操作権管理	98 バックアップ
13 データ取込	93 事業者情報管理	99 H30/04データ移行

W\_D: 「C:\事業者システム201804\W\_D\_FSD201804.mde」  
W\_DM: 「C:\事業者システム201804\W\_DM\_FSD201804.mde」

終了

- ② 「平成 30 年4月改正データ移行を行います。よろしいですか?」と表示されますので「はい」を選択します。

- ③ 「データ移行が完了しました」と表示されたら移行作業は完了です。  
→ 移行作業完了後、事業者システムを一旦終了し、再度、起動してください

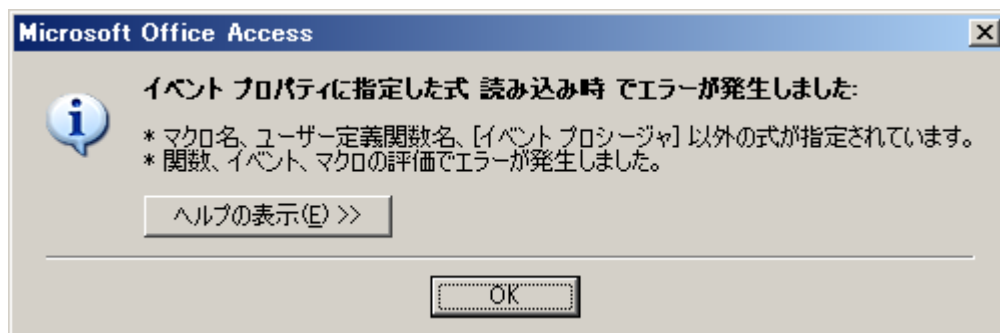
#### ※「99 H30/4 データ移行」ボタンについて

このボタンは、「93 事業者情報管理」にデータが1件でも登録されると表示されなくなります。

そのため、一旦事業者データを登録して、このボタンの表示が消えても、登録した事業者情報データをすべて削除すれば、再度このボタンが表示されます。

#### 4 エラー発生時の対応方法

「事業者システム 201804」を起動した際に、下記のようなエラーが発生した場合は、「OK」ボタンを押下し、メニュー画面で「91 DB再リンク」を実行してください（※事業者システムマニュアル 共通編 44 ページ参照）。その後、事業者システムを一旦終了し、再度、「事業者システム 201804」を起動することにより、エラーが解消される場合があります。



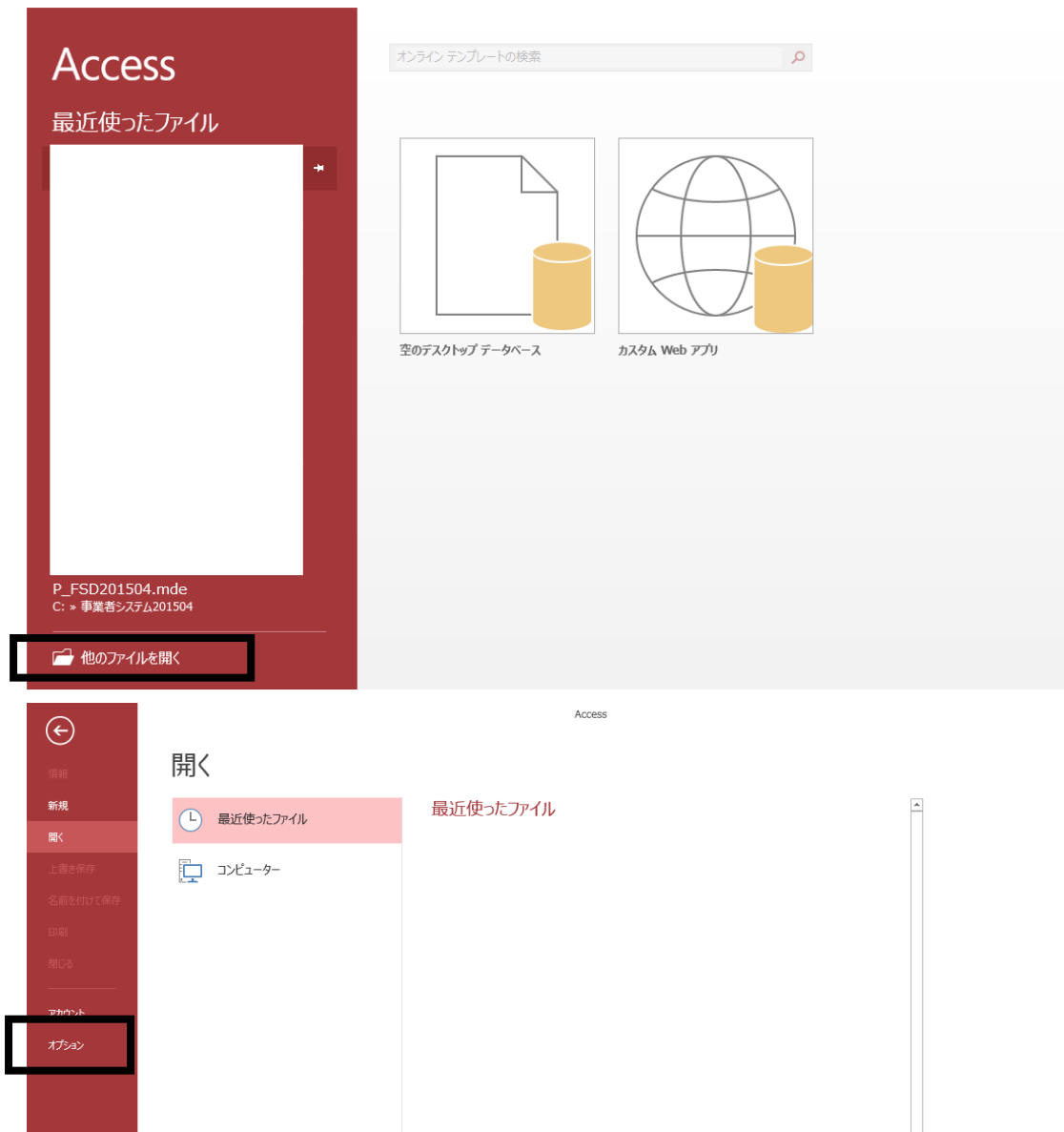
その他のエラーが発生した場合は、「ウェルネットなごや」に掲載の「事業者システムにかかる質問票」に詳しい状況を記入し、障害者支援課へFAX（※052－972－4149）してください。（※お電話でのご質問はお断りしておりますのでご了承ください。）

## 「Access2013」で事業者システムを使用する際の注意事項について

事業者システムを Access2013 で使用する場合、セキュリティ設定の「信頼できる場所の追加」を行わないと作業ができません。

1. Access2013 を開きます。ファイルはなんでも構いません。

左の部分の「他のファイルを開く」を選択し、次の画面で左の部分の「オプション」を選択します。Access のオプションをクリックします。

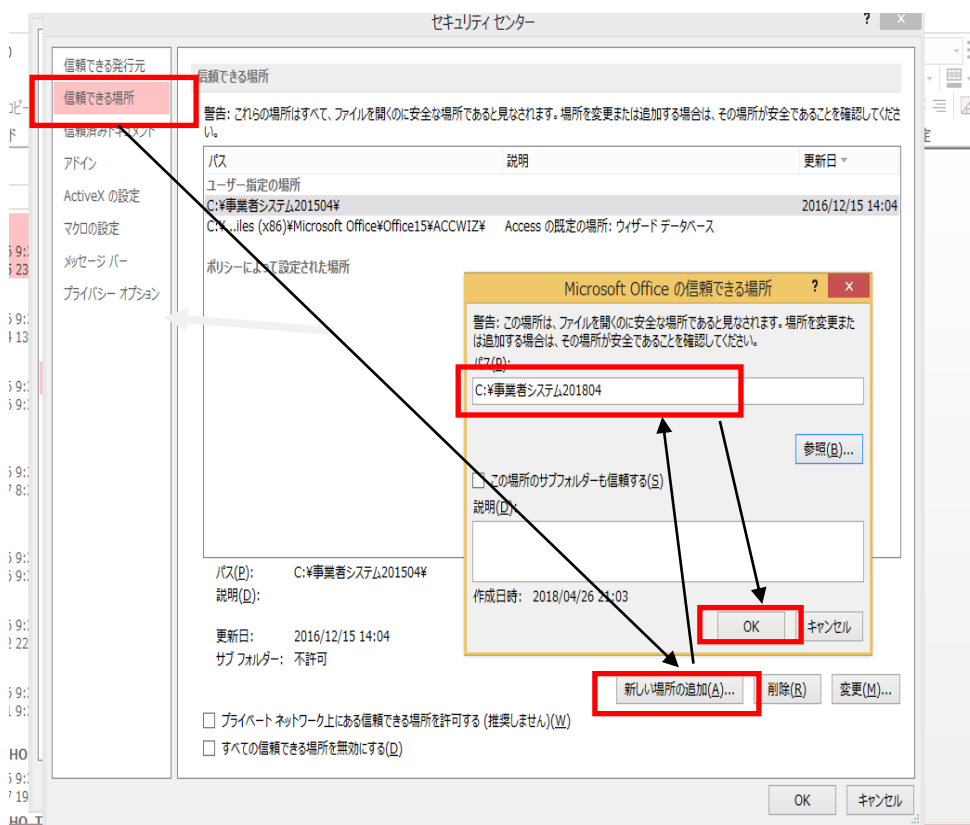


2. Access2013 のオプションを開き、「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定」ボタンを押します。



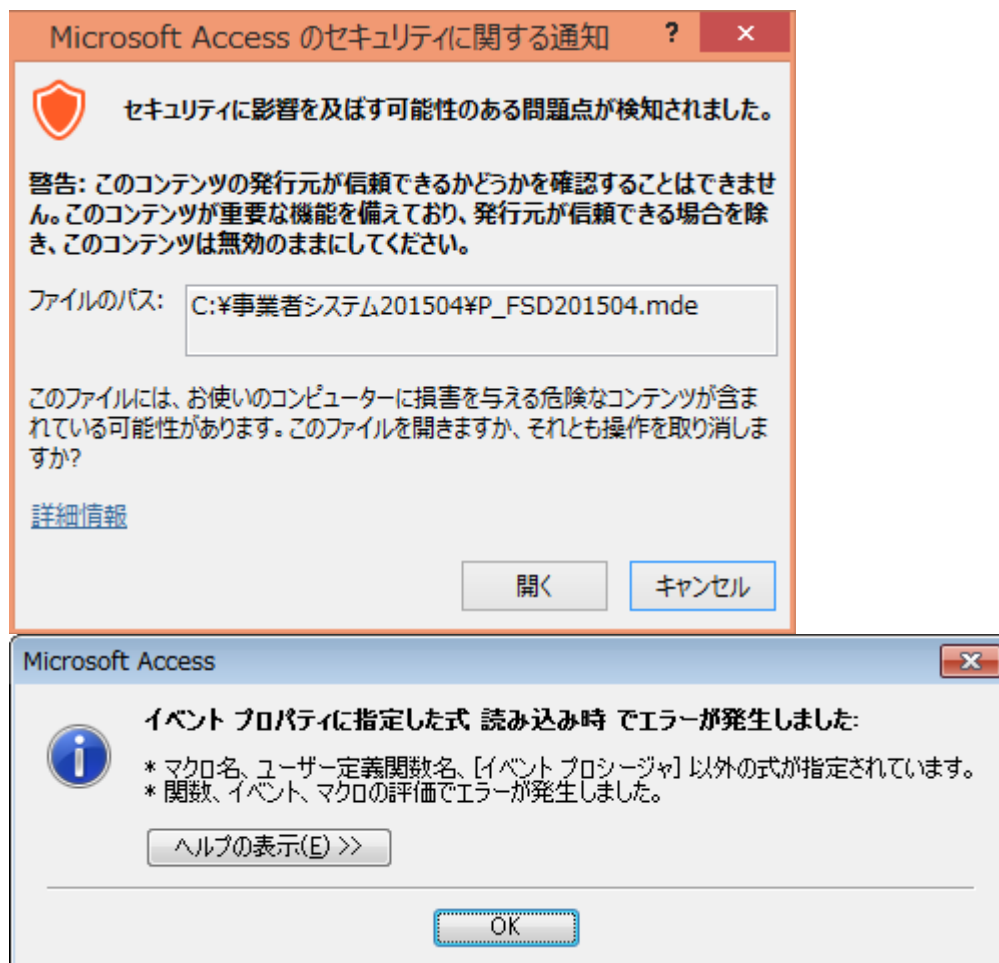
3. 「信頼できる場所」を選択し、「新しい場所の追加」ボタンを押してください。

4. パス欄に「C:\¥事業者システム 201804¥」を追加して OK ボタンを押してください。



＜設定をせずに動作した場合の事業者システムの挙動＞

セキュリティの設定を行わずに事業者システムを起動しますと、以下のようなメッセージが出力されます。



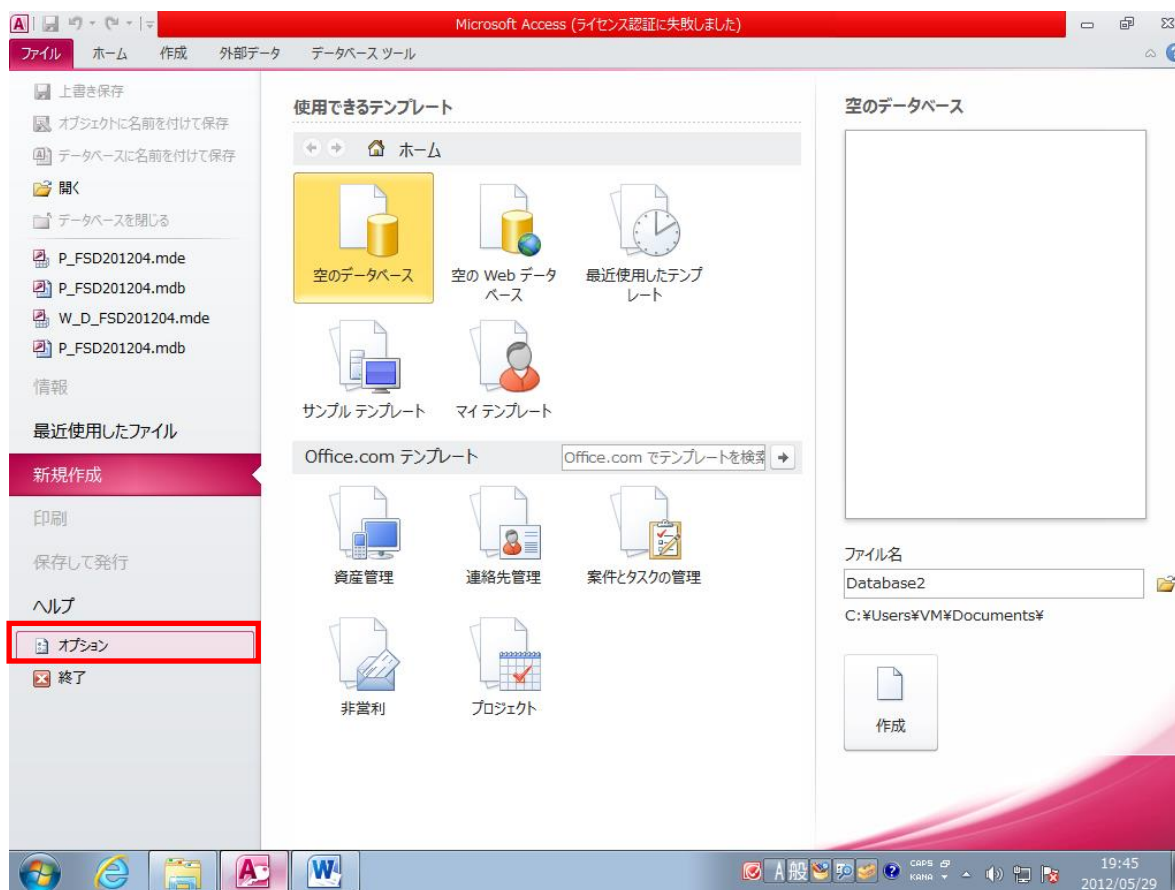


## 「Access2010」で事業者システムを使用する際の注意事項について

事業者システムを Access2010 で使用する場合、セキュリティ設定の「信頼できる場所の追加」を行わないと作業ができません。

1. Access2010 を開きます。ファイルはなんでも構いません。

左上の部分をクリックするとメニューが開きます。Access のオプションをクリックします。

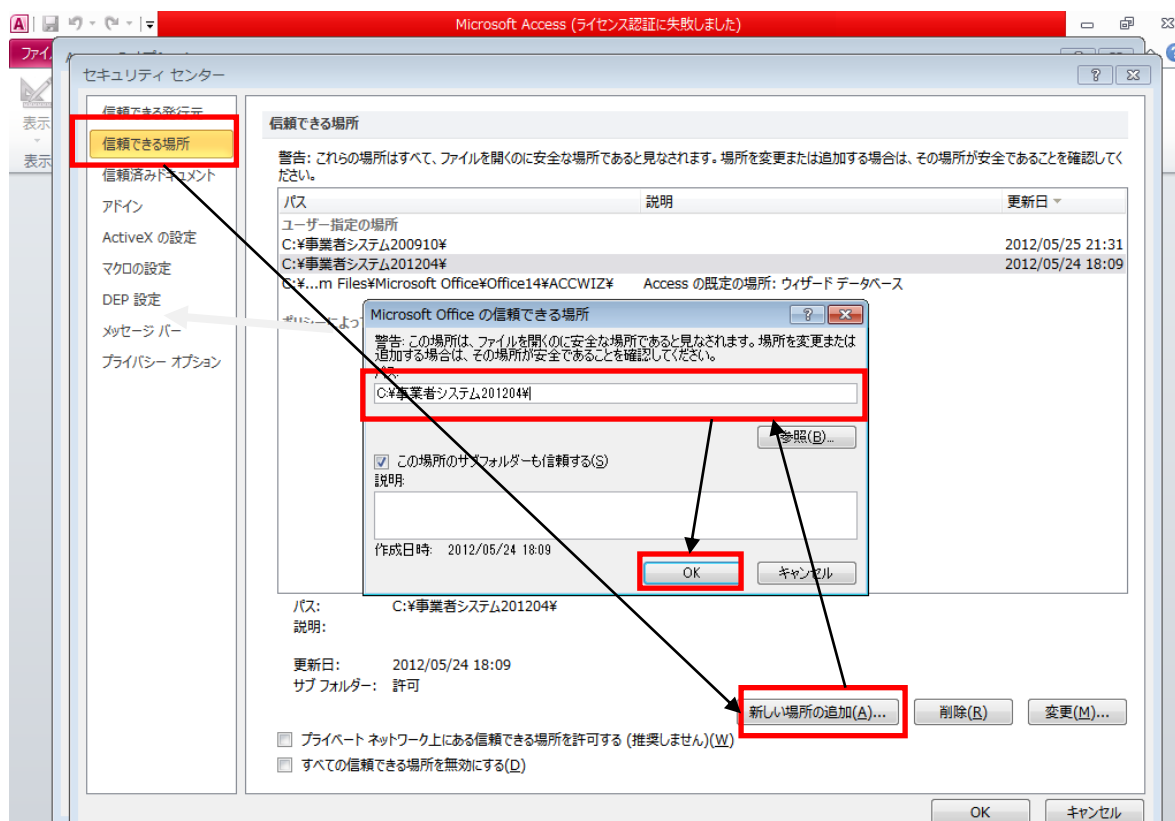


2. Access2010 のオプションを開き、「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定」ボタンを押します。



3. 「信頼できる場所」を選択し、「新しい場所の追加」ボタンを押してください。

4. パス欄に「C:\¥事業者システム 201804¥」を追加して OK ボタンを押してください。



<正しく設定した場合>

以下の画面が表示されます。

名古屋・障害者自立支援 事業者システム 201804 Ver.1.0

パスワード

事業者名称

サービス種類

受給者番号  (提供実績管理・請求明細管理・契約管理の受給者番号の既定値)

提供単位番号名

☐ 地域生活支援事業受給者

サービス提供年月  (H30/04 (提供実績管理・請求明細管理・パッチメニューの提供年月の既定値))

<オンライン処理> 選択サービス

01 対象者管理	04 請求明細管理
02 契約管理	05 計画相談請求
03 提供実績管理	06 上限管理結果

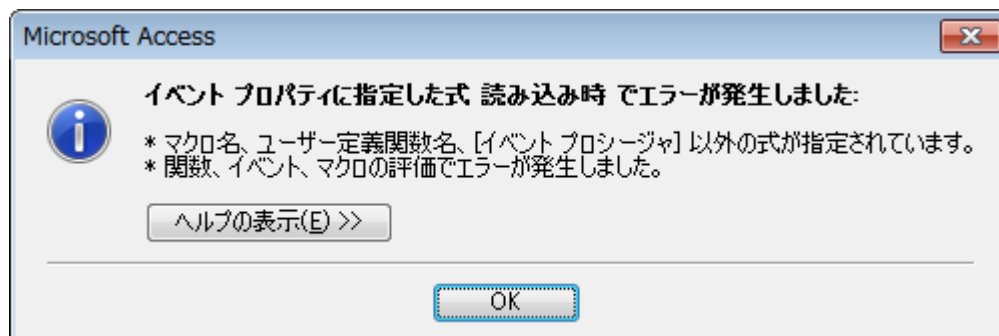
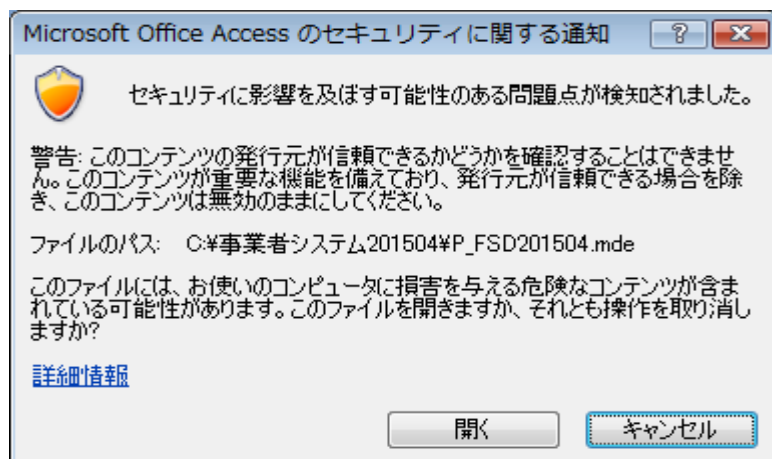
<パッチ処理>

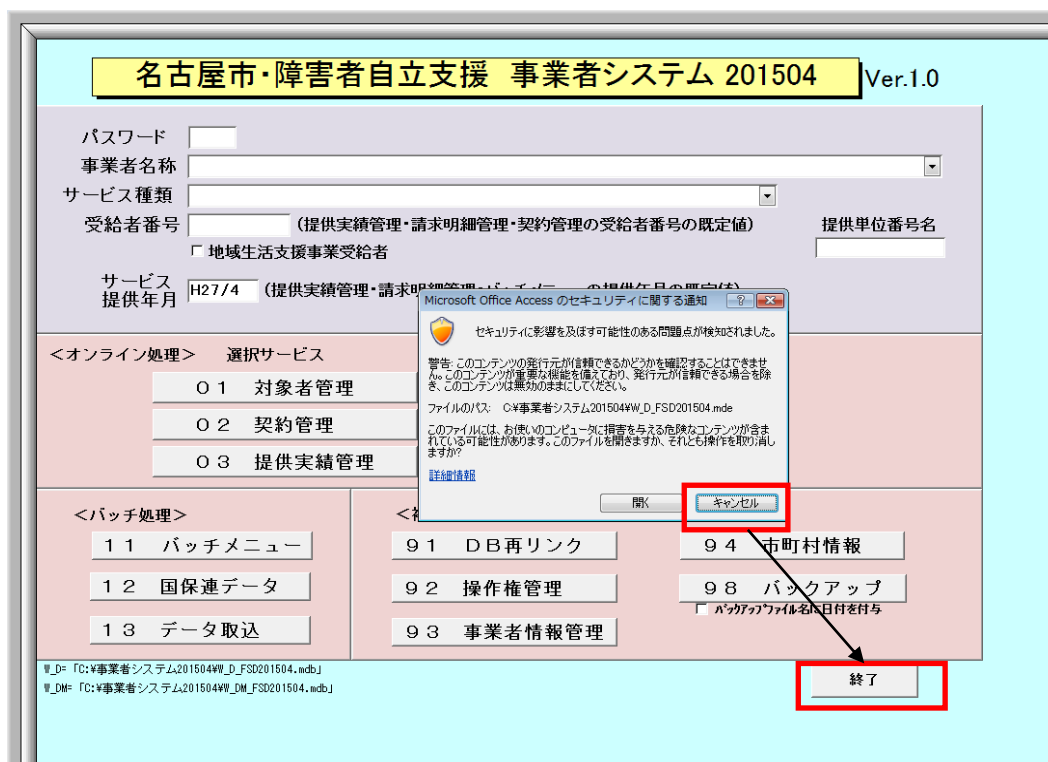
11 パッチメニュー	91 DB再リンク	94 市町村情報
12 国保連データ	92 操作権管理	98 バックアップ
13 データ取込	93 事業者情報管理	

終了

<設定をせずに動作した場合の事業者システムの挙動>

セキュリティの設定を行わずに事業者システムを起動しますと、以下のようなメッセージが出力されます。

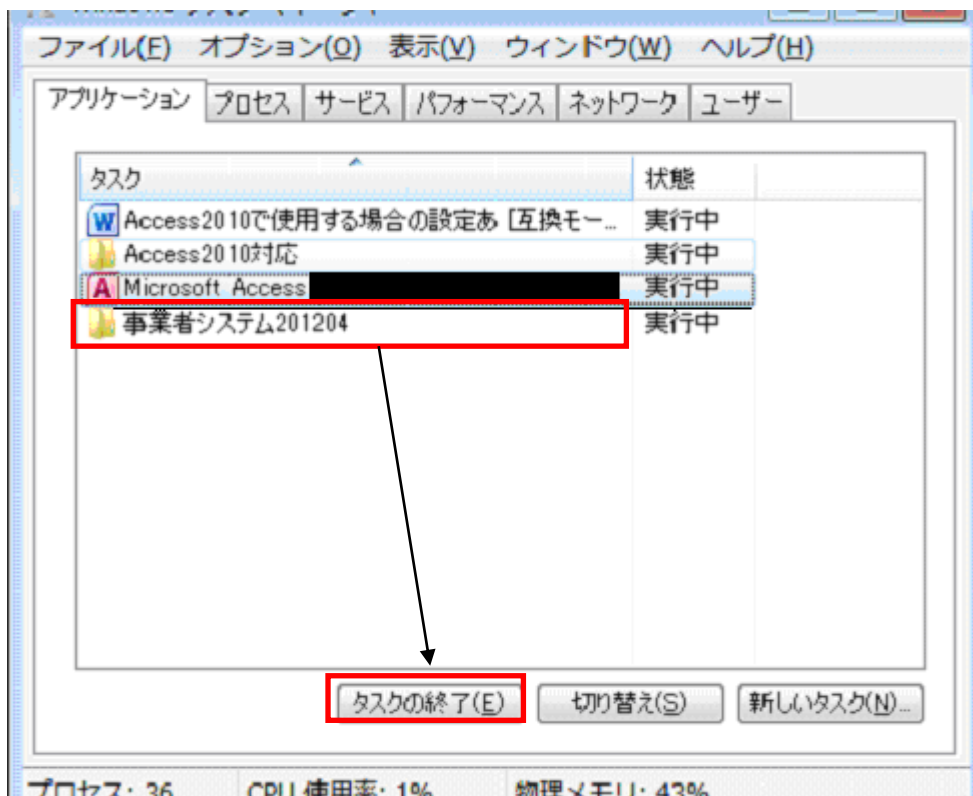




以上の事象が確認される場合は、セキュリティの設定が行われていないと判断してください。メッセージ内のキャンセルを押すとメッセージが閉じるため、事業者システムの終了ボタンから終了ができます。

強制終了する方法もあります。

タスクマネージャを開き、P\_FSD201804 を選択し、タスクの終了を押してください。

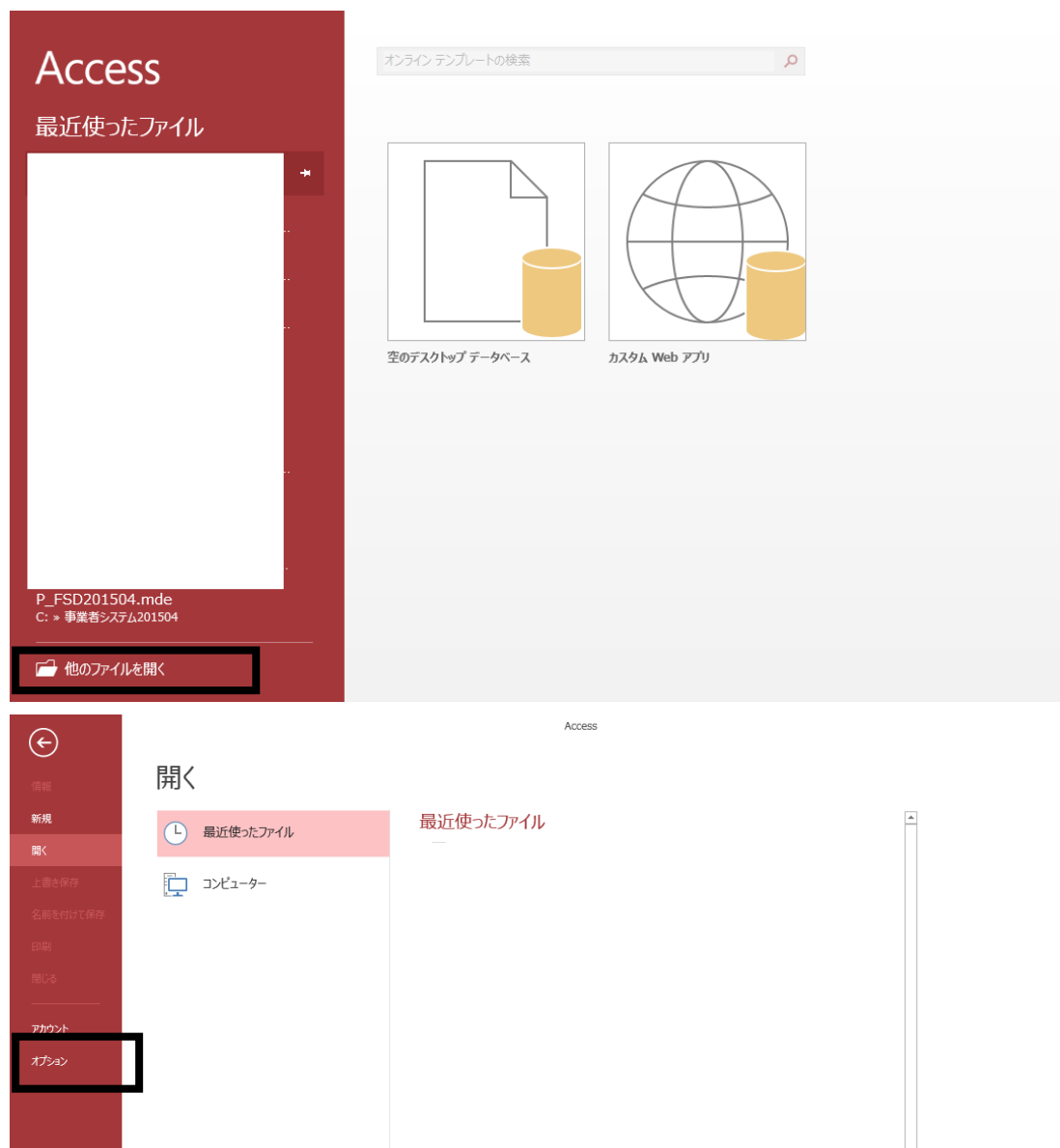


信頼できる場所に「事業者システム 201804」を追加しても正常に動作しない場合

信頼できる場所に「事業者システム 201804」を追加しても正常に動作しない場合、マクロのセキュリティ設定を解除する必要があります。下記の手順に沿って設定を行ってください。

1. Access を開きます。ファイルはなんでも構いません。

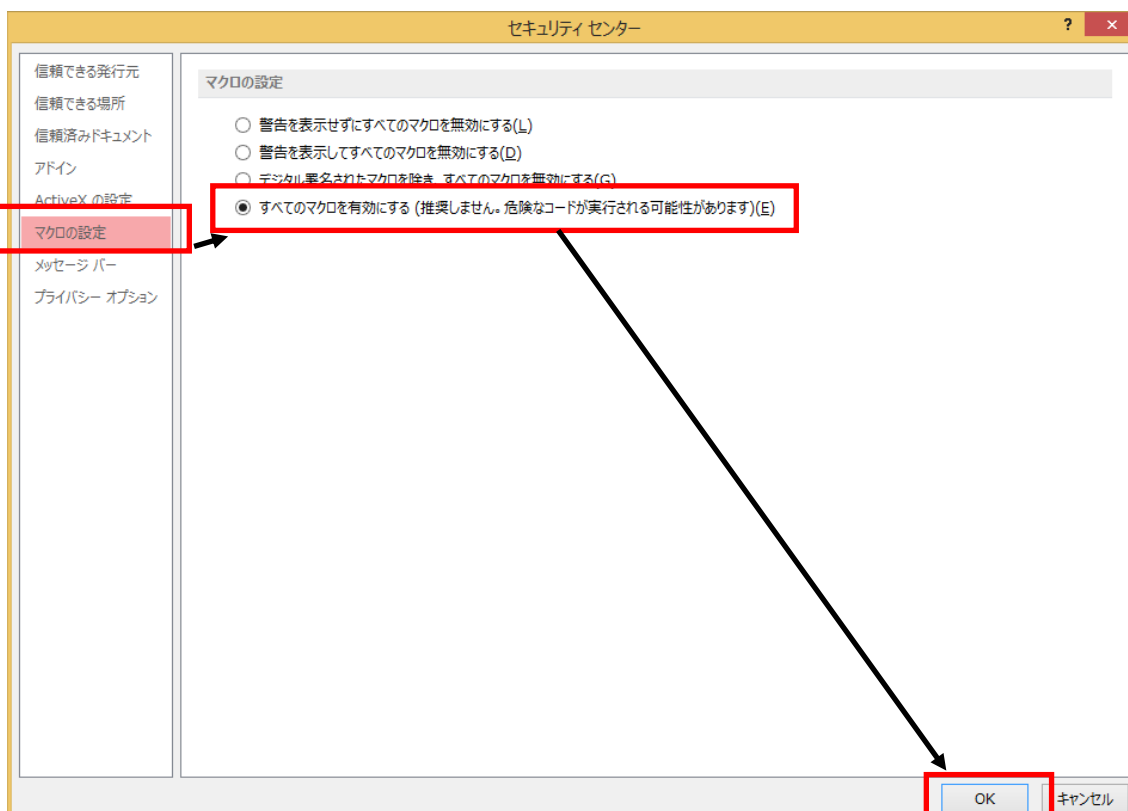
左の部分の「他のファイルを開く」を選択し、次の画面で左の部分の「オプション」を選択します。Access のオプションをクリックします。



2. Access2013 のオプションを開き、「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定」ボタンを押します。



3. 「マクロの設定」を選択し、「すべてのマクロを有効にする」にチェックを入れ、OK を押す



4. 上記設定をした後に事業者システムを起動すれば、正常に動作します

【正常に設定された画面】

名古屋市・障害者自立支援 事業者システム 201804 Ver.1.0

パスワード

事業者名称

サービス種類

受給者番号  (提供実績管理・請求明細管理・契約管理の受給者番号の既定値) 提供単位番号名

☐ 地域生活支援事業受給者

サービス提供年月 H30/04 (提供実績管理・請求明細管理・パッチメニューの提供年月の既定値)

<オンライン処理> 選択サービス

01 対象者管理	04 請求明細管理
02 契約管理	05 計画相談請求
03 提供実績管理	06 上限管理結果

<パッチ処理>

11 パッチメニュー
12 国保連データ
13 データ取込

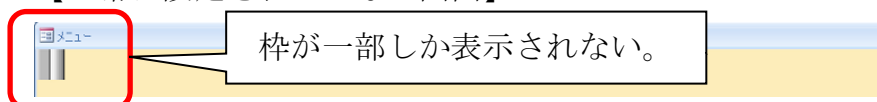
<初期処理>

91 DB再リンク	94 市町村情報
92 操作権管理	98 バックアップ
93 事業者情報管理	<input type="checkbox"/> バックアップファイル名に日付を付与

W\_D=「C:\事業者システム201804\W\_D\_FSD201804.mde」  
W\_DM=「C:\事業者システム201804\W\_DM\_FSD201804.mde」

終了

【正常に設定されていない画面】



名古屋市・障害者自立支援 事業者システム 201504 Ver.1.0

パスワード

事業者名称

サービス種類

受給者番号  (提供実績管理・請求明細管理・契約管理の受給者番号の既定値) 提供単位番号名

☐ 地域生活支援事業受給者

サービス提供年月 H27/4 (提供実績管理・請求明細管理・パッチメニューの提供年月の既定値)

<オンライン処理> 選択サービス

01 対象者管理	04 請求明細管理
02 契約管理	05 計画相談請求
03 提供実績管理	06 上限管理結果

<パッチ処理>

11 パッチメニュー
12 国保連データ
13 データ取込

<初期処理>

91 DB再リンク	94 市町村情報
92 操作権管理	98 バックアップ
93 事業者情報管理	<input type="checkbox"/> バックアップファイル名に日付を付与

W\_D=「C:\事業者システム201504\W\_D\_FSD201504.mde」  
W\_DM=「C:\事業者システム201504\W\_DM\_FSD201504.mde」

終了

⇒ 枠が表示されない場合は、セキュリティの設定が正しく行われていません。

## データ移行時の注意点

データ移行時、旧バージョンの事業者システムフォルダ（C:\¥事業者システム 201504）が信頼できる発行元の対象になっていない場合、以下のメッセージが表示されます。

「開く」を選択すれば、データ移行を続行することは可能ですが、C:\¥事業者システム 201504 も信頼できる場所に追加してください。

**名古屋市・障害者自立支援 事業者システム 201204**

Ver.2.7

パスワード

事業者名称

サービス種類

受給者番号  (提供実績管理・請求明細管理・契約管理の受給者番号の既定値)

☐ 地域生活支援事業受給者

サービス提供年月  (提供実績管理・請求明細)

提供単位番号名

<オンライン処理> 選択サービス

☐ 01 対象者管理

☐ 02 契約管理

☐ 03 提供実績管理

<バッチ処理>

☐ 11 バッチメニュー

☐ 12 国保連データ

☐ 13 データ取込

Microsoft Office Access のセキュリティに関する通知

セキュリティに影響を及ぼす可能性のある問題点が検知されました。

警告: このコンテンツの発行元が信頼できるかどうかを確認することはできません。このコンテンツが重要な機能を備えており、発行元が信頼できる場合を除き、このコンテンツは無効のままにしてください。

ファイルのパス: C:\¥事業者システム200910¥¥¥\_D\FSD200910.mde

このファイルには、お使いのコンピュータに損害を与える危険なコンテンツが含まれている可能性があります。このファイルを開きますか、それとも操作を取り消しますか?

[詳細情報](#)

<初期処理>

☐ 91 DB再リンク

☐ 92 操作権管理

☐ 93 事業者情報管理

☐ 94 市町村情報

☐ 98 バックアップ

☐ バックアップファイル名に日付を付与

☐ 99 H24/04データ移行

W\_D=「C:\¥事業者システム201204¥¥¥\_D\FSD201204.mde」

W\_DM=「C:\¥事業者システム201204¥¥¥\_DM\FSD201204.mde」

— 16 —